

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉施策審議会運営事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	03	01	01	03	02
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	社会福祉課				
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり			主管課長	矢口 道夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	福祉に関する主要な施策を調査及び審議する。
事業内容	福祉に関する主要な施策について、必要な調査及び審議を行い、その結果を市長に答申し、又は建議する。			
事業開始から現在までの状況変化	福祉に関する主要な施策の調査及び審議を行う機関として平成5年3月25日に設置。委員構成は、福祉サービスの提供を受ける者、ボランティア団体、民生委員、学識経験を有する者、市民を代表する者の他4区分の18名で構成されている。平成24年10月1日、市民参加条例の施行に伴う附属機関に関する条例の一部改正（H25.4.1）により、構成委員の定数（市民2名→7名）が変更された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	開催回数	10	15	8	
②	延べ出席委員数	128	188	111	人	↑↑↑	
③	答申・建議数	2	10	3	件	→→	諮問2件、1件
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市民の意見・要望を反映させるため、条例改正案等は事前に、福祉施策審議会に説明（諮問）している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,044,590	2,434,700	4,502,600			
事業費(b)(円)		856,800	1,260,000	737,600			
うち一般財源		856,800	1,260,000	737,600			
職員給与費(c)(円)		1,187,790	1,174,700	3,765,000			
人役・職員(人)		0.17	0.17	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市民等の構成員を2名から7名に増員し、子育て中の女性参加を推進するため、一時保育を可能にし、審議会に参加しやすくしていく。	③取組の課題	福祉施策審議会委員は、各分野の代表者を委嘱しているが、委員の兼任や長期化が懸念される。
②今年度(H27)に実施した取組	一時保育を必要とする委員に対し、一時保育を実施した。	④今後の改善計画	平成25年4月1日に附属機関に関する条例の一部改正により、構成委員の定数（市民2名→7名）を変更しているが、今後とも広く市民の意見・要望を取り入れていく必要がある。